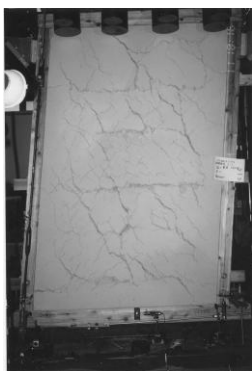


平成23年度 景観・まちづくり大学 (第2回)京町家住まい方ラボ

# 京都の文化を活かして、町家の防火・耐震性を高める

「京町家住まい方ラボ」とは  
住まいとしての京町家への  
理解を深めるための、体験  
的・実践的なセミナーです。

耐震上の弱点となる土間のトオリニワを、板張りのリ  
ビングダイニングにして耐震補強(西陣ヒコバエノ家)



京都の伝統構法の木造  
土壁の耐震実験(2000年)



京都の伝統構法の木造土壁の  
防火実験(2000年、日本初)

日 時 10月23日(日) 14時~16時半

★開場 13時。セミナー開始前に(13時~14時)会場の防火・耐震改修町家の見学公開

協力 関西木造住文化研究会(略称 KARTH(カース))

講師 田村 佳英(KARTH防火・耐震研究チーム)

武田 真理子(同上チーム)

会場 西陣ヒコバエノ家(上京区) ※裏面を参照

参加費 無料

お申込み FAX、電話、メールで裏面の「参加申込書」の内容を、  
(財)京都市景観・まちづくりセンターまでお知らせ下さい。

くわしくは、  
裏面をご覧ください。



西陣ヒコバエノ家(会場)

関西木造住文化研究会(略称KARTH(カース))は、1999年以降、京都の木造伝統住文化と暮らしと安全性が両立した住まい・まちづくりの実現に向けた各種研究に継続的に取り組んでいきます。  
当日は、これまでの実験・研究成果をもとに、「京町家の木造伝統文化を活かして耐震・防火性を高めるための要点と具  
体策(建物対策、暮らし方の工夫など)」を、会場の防火・耐震改修町家をモデルにビジュアルにわかりやすく解説いたします。

主催・問合せ先:(財)京都市景観・まちづくりセンター(担当:大屋・浜谷)

電話:354-8701、FAX:354-8704 メール:machi.info@hitomachi-kyoto.jp

## 町家の伝統的な意匠を活かした防火・耐震改修の例

▲:耐震性の向上、●:防火性の向上

**屋根**

- ・軽くし、屋根下地の野地板を厚板に▲●

**妻壁の裏返し塗り無しの土壁**

- ・耐震・防火的に脆弱なため、防火構造にして耐震補強を▲●
- ★隣が工事をするときは点検・補強の機会！

**地震力が集中する建物隅の壁**

- ・防火構造の耐力壁へ●▲

**化粧軒裏**


- ・厚板の野地板と土・漆喰で防火構造に●

**木製の窓・格子・出入口建具**

- ・内側に防火戸を●

**雨対策** ▲●

- ・建物の裏側や隣の建物との間、軒の出の少ない外壁や足元廻り、雨樋の漏水等の定期点検・補修を



## 会場地図

### 西陣ヒコバエノ家

上京区上立売通浄福寺西入ル姥ヶ東西町 632

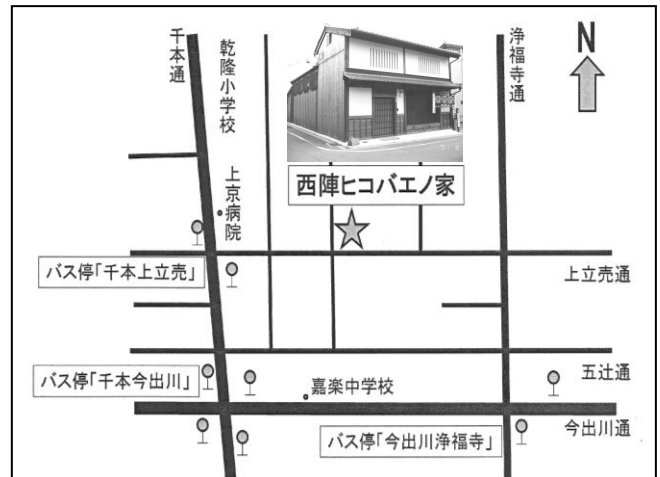
TEL 075-411-2730 悠(ユウ)計画研究所内

関西木造住文化研究会 (略称 KARTH(カース))

URL: <http://karth.blog13.fc2.com>

●自然材料を使った伝統構法による防火・耐震改修の有効性を実験で検証して実現した日本初の耐震・防火改修町家。

●ヒコバエとは、枯れ木の根元から新しい芽が生えることの意味です。



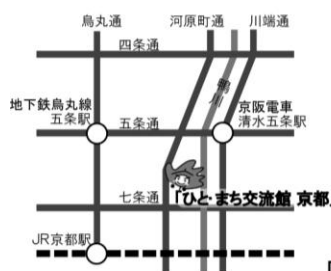
## お問い合わせ・お申込み・主催

財団法人 京都市景観・まちづくりセンター

TEL: 075-354-8701、FAX: 075-354-8704、

MAIL: [machi.info.@hitomachi-kyoto.jp](mailto:machi.info.@hitomachi-kyoto.jp)

URL: <http://machi.hitomachi-kyoto.jp/>



「ひと・まち交流館 京都」地下1階

市バス 17 205 「河原町正面」下車すぐ

**075-354-8701**

〒600-8127

京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅津町83-1 (河原町五条下る東側) 地下1階



10月23日(日) 京町家住まい方ラボ 参加申込書 (FAX 送信先: 075-354-8704)

ふりがな	氏名 _____	
	住所 〒 _____	
TEL		FAX _____
E-mail	_____	
賛助会員の登録の有無(○をつけてください)	有	無 _____